

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-249205

(43) 公開日 平成11年(1999) 9月17日

(51) Int. Cl.⁴

識別記号

F I

G 0 3 B 15/00

G 0 3 B 15/00

D

G 0 9 F 3/00

G 0 9 F 3/00

A

G 1 1 B 23/38

G 1 1 B 23/38

A

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-66281

(22) 出願日 平成10年(1998) 3月2日

(71) 出願人 597026281

菊地 幸男

東京都品川区中延 6-1-3 第二亀田ビル 501号

(72) 発明者 菊地 幸男

東京都品川区中延 6-1-3 第二亀田ビル 501号

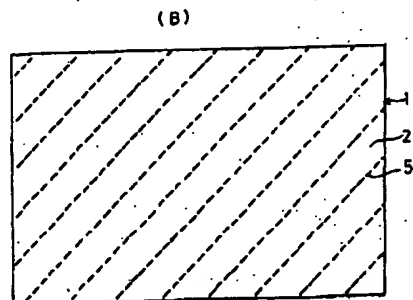
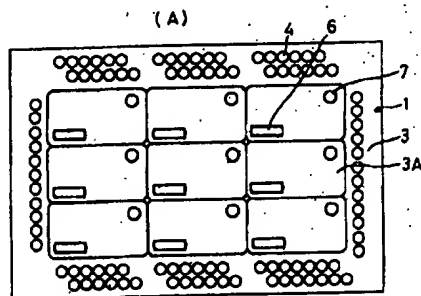
(74) 代理人 弁理士 辻 三郎

(54) 【発明の名称】 パーソナル郵便切手のプリント方法および該プリント方法に使用されるプリントシート

(57) 【要約】

【課題】 自分自身で郵便切手の図形や絵柄、写真等を選定できるようにし、もって購入者自身の記念品になると同時に購入者を特定できるようにしたパーソナル郵便切手のプリント方法および該プリント方法に使用されるプリントシートを提供する。

【解決手段】 プリントシート 1 がセパレータ 2 と該セパレータ 2 に取り外し可能に取り付けられたパーソナル郵便切手用の複数のシール 3 A とからなり、該シール 3 A には発行権限を有する機関の名称 7 と金額 6 が予め印刷されてなり、前記プリントシートを購入した者が前記パーソナル郵便切手用の複数のシール 3 A に所望のプリントをして個々のシール 3 A を剥がし取り、これを郵便切手として使用すること。



【特許請求の範囲】

【請求項1】プリントシートがセバレータと該セバレータに取り外し可能に取り付けられたパーソナル郵便切手用の複数のシールとからなり、該シールには発行権限を有する機関の名称と金額が予め印刷されてなり、前記プリントシートを購入した者が前記パーソナル郵便切手用の複数のシールに所望のプリントをして個々のシールを剥がし取り、これを郵便切手として使用して成ることを特徴とするパーソナル切手のプリント方法。

【請求項2】セバレータと該セバレータに取り外し可能に取り付けられたパーソナル郵便切手用の複数のシールとからなるプリントシートと、前記パーソナル郵便切手用の複数のシールには発行権限を有する機関の名称と金額が予め印刷されてなり、前記パーソナル郵便切手用の複数のシールに所望のプリントをしてこれを郵便切手として使用可能としたことを特徴とするパーソナル郵便切手のプリントシート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、所望の図形や絵柄、写真等をプリント可能とした郵便切手のプリント方法および該プリント方法に使用されるプリントシートに関し、更に詳しくは購入者がプリントシートに貼付けられたシールに所望の図形や絵柄、写真等をプリントしてこれを郵便切手として使用可能としたパーソナル切手のプリント方法および該プリント方法に使用されるプリントシートに関する。

【0002】

【従来の技術】郵便切手はそれぞれの国の権限を有する機関（例えば、何某国或いは何某国郵政省等）が発行或いは認可し、これを購入者が購入してはがきや封書に貼付けて使用している。通常の場合、郵便切手には発行機関が選定した図形や絵柄、写真等が印刷されており、購入者はその中の一つを選択して購入している。一方、シールを剥離可能に粘着したプリントシートを用いて、所望の背景図柄と自分の写真とを一緒にカラープリントすることも公知である。このプリントシートは、図3に示すように、セバレータ（台紙）21と、このセバレータ21に剥離可能に粘着された複数枚のシール22とから構成されている。

【0003】この従来公知のシールにカラープリントする方式に使用されているプリントシートは、所望の背景を選定すると共に自分の写真を撮り、その背景の中に自分の写真を入れてシール22上にカラープリントするものとなっている。そして、カラープリントされたシール22をセバレータ21から剥離して、所望の箇所に粘着する。シール22にカラープリントする方式としては、昇華型やインクジェット方式等、種々の公知の方式が採用される。そして、公知のカラープリント機械にプリントシートを通してカラープリントするものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来公知の郵便切手は政府機関等によって予め印刷されているため、印刷されている図形や絵柄、写真等が限られており、魅力にかけるといった問題があった。又、印刷されている図形や絵柄、写真は、購入者の好みに沿ったものとは言えず、更には購入者自身を特定するものではないため、例えば購入者が観光旅行中に記念として切手を購入する場合のように、購入者自身の記念品としての魅力に欠けるものであった。

【0005】そこで、本発明の目的は、自分自身で郵便切手の図形や絵柄、写真等を選定できるようにし、もって購入者自身の記念品になると同時に購入者を特定できるようにしたパーソナル郵便切手のプリント方法および該プリント方法に使用されるプリントシートを提供せんとするにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため、本発明は次の構成のパーソナル郵便切手のプリント方法および該プリント方法に使用されるプリントシートとしたものである。即ち、プリントシートがセバレータと該セバレータに取り外し可能に取り付けられたパーソナル郵便切手用の複数のシールとからなり、該シールには発行権限を有する機関の名称と金額が予め印刷されてなり、前記プリントシートを購入した者が前記パーソナル郵便切手用の複数のシールに所望のプリントをして個々のシールを剥がし取り、これを郵便切手として使用して成ること。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施の形態を図1の（A）、（B）を参照して説明する。ここで、図1の（A）はプリントシートを表面から見た平面図であり、図1の（B）はプリントシートを裏面から見た平面図である。図1の（A）、（B）を参照して、本発明の一実施形態に係るプリントシート1は、セバレータ2（台紙）と、このセバレータ2に剥離可能に粘着されたシール部3とからなっている。シール部3には複数枚のパーソナル郵便切手用のシール3Aが取り外し（剥ぎ取り）可能に設けられている。ここで、シール3Aは、セバレータ2に貼り付け（例えば粘着）されたシート状のシール部3が切手の形状に裁断されたものである。シール部3は、昇華型方式やインクジェット方式のカラープリントができるように表面に受容層が設けられたものである。

【0008】シール部3にはプリントシート1の取扱いの説明文4が印刷されており、セバレータ2の裏面には偽造を防止すると共に、国等の発行権限機関の名称や、その認可を表す模様や文字等の認可証5が印刷されている。又、パーソナル郵便切手用のシール3Aには、金額

6、国名や発行権限機関名（例えば、何某国郵政省）等

(3)

特開平11-249205

3

の発行機関名7等が印刷されている。

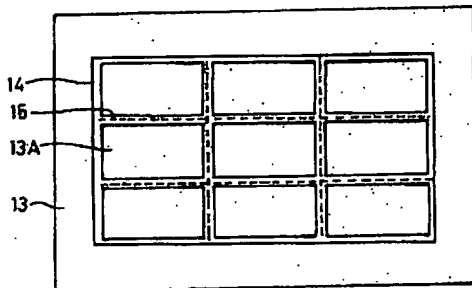
【0009】上述のように構成されたプリントシート1の使用は、以下のようにして行われるものである。本発明のプリントシート1にカラープリントするプリント機械は、従来のブリクラに使用されているプリント機械と同様に、使用者が複数の背景の中から所望の背景を選定できるようになっている。ここで、背景は必ずしも採用する必要はない。プリントシート1を購入した購入者は、該プリントシート1をプリント機械に通してパーソナル郵便切手用のシール3Aに背景に自分の写真を合体させてカラープリントする。そして、個々のパーソナル郵便切手用のシール3Aを剥がし取って郵便切手として使用するものである。

【0010】ここで、上述したプリント機械は内蔵のコンピュータのソフトによって種々の形態のカラープリントが可能となっている。例えば、プリントシート1を観光地で購入した場合にはその観光地の代表的ないくつかの背景がプリントできるようにしたり、日付や時間をプリントしたり、国旗や国花、国を表す動植物を採用できるようにしたり、更には自分の名前をプリントしたりするソフトをプログラムしても良い。

【0011】図2は、本発明に使用されるプリントシートの他の実施形態を示す図であり、この実施形態ではシール部13に細い枠部分14が設けられており、該枠部分14によって個々のパーソナル郵便切手用のシール13Aを区画しているものである。そして、枠部分14には発行権限機関の認可証15が図形や文字で印刷されている。この実施例によると、一層の偽造防止ができると共に、切手周縁の鋸歯状の凹凸付与が簡単となるものである。

* 30

【図2】



4

* 【発明の効果】以上説明した本発明によると、次のような効果を奏する。従来公知の郵便切手と比べて、プリント可能な図形や絵柄、写真等が幅広く採用可能となり、購入者にとって魅力的かつ記念品としての価値の高い切手が得られるものとなる。又、パーソナル郵便切手という、今までにない形式の郵便切手を提供できるものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態になるパーソナル郵便切手のプリントシートを示す平面図であり、図1の(A)はプリントシートを表面から見た平面図であり、図1の(B)はプリントシートを裏面から見た平面図である。

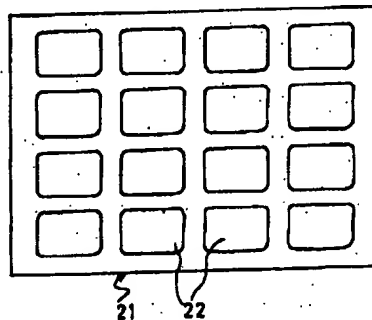
【図2】本発明の他の実施形態になるパーソナル郵便切手のプリントシートを示す平面図である。

【図3】従来公知のシールにプリントする機械で使用されているプリントシートの平面図である。

【符号の説明】

- 1 プリントシート
- 2 セバレータ
- 3 シール部
- 3A パーソナル郵便切手用のシール
- 4 説明文
- 5 認可証
- 6 金額
- 7 発行機関名
- 13 シール部
- 13A パーソナル郵便切手用のシール
- 14 枠部分
- 15 認可証

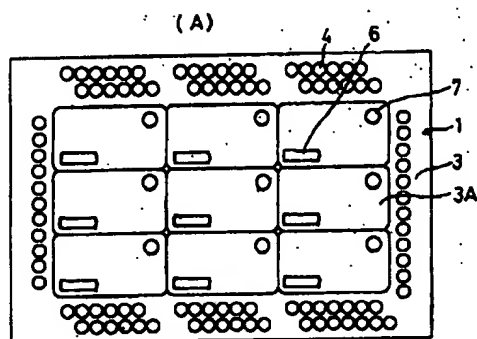
【図3】



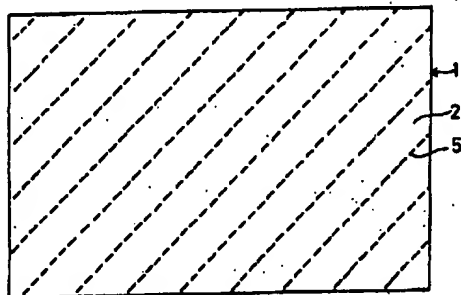
(4)

特開平11-249205

【図1】



(B)



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.